

院長訪問

旭川高砂台病院

横山 恵一院長



大阪の大病院で救急医療に従事してきた。都会の喧騒よりも自然豊かな地域での暮らしを望み、2023年8月から現職に。特別な縁があった訳ではないが、救急の経験を生かしたい」と思いでの着任だったという。

前病院長の急逝など想定外の出来事が重なったが、救急現場で培った柔軟さに対応力で病院を支えてきた。

「どんな患者でも受け入れるのが当院の強み。救急で入院したものの行き場がない患者を引き受けることは、救急医療全体を支えることにもつながる」。

この姿勢を実現する

“積極的に患者受け入れ 救急医療を支援”

には、医師だけでなく。入院治療までは必ず看護師やスタッフの技要としないが、自宅に術と連携が欠かせない。は戻れない患者を受け入れ、救急病棟の負担を軽減する仕組みづくの一番の財産」と評り。「救急医療は一つ価値し、チームとしての病院だけで成り立つ成長に期待を寄せる。ものではない。地域全一方で課題は「新しい医療機器や治療に触れる経験が少ないこと」。

その克服に向け、院長自ら「24時間いつでも相談してほしい」とスタッフを支え、安心して一歩を踏み出せる体制づくりを進めている。

今後の展望は、急性期と在宅の間をつなぐ役割への挑



▼住所 旭川市高砂台1丁目122